

農作物技術情報 号外 凍霜害対策(果樹)

発行日 平成27年 4月13日
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
 編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
 パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆現在、県内のりんごの生育ステージは展葉期前後となっており、蕾が見えてきた園地も見られます。場所によっては、平年より2週間ほど生育が進んでいます。
- ◆4月8～9日の低温により、県内各地のりんご、おうとう等で凍霜害を受けています。被害を免れた花が確実に結実するよう、人工授粉などの対策を行いましょう。

りんご

1 生育概況

定点観測地点の調査結果(表1)によると、ほぼ県内全域で展葉しています。発芽までの高温に加え、4月始めも気温が高く、降雨もあったことから平年と比べ10日前後生育が進んでいます。現状のまま生育が進むと、県中南部では4月25日過ぎに開花始期を迎える可能性があります。

一般に展葉期以降、開花期に近づく程、凍霜害を被る危険性が高くなりますので、引き続き毎日の気象情報に注意し、事前対策の徹底を図りましょう。特に例年凍霜害を被る園地では注意してください。

表1 ふじの展葉と開花予測(4月13日時点)

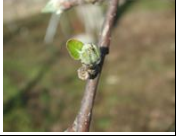






市町村	地区	展葉日(月/日)			展葉日の平年・前年差(±日)		開花始期予想(月/日)			開花始期予想と平年実測値との差		開花始期(月/日)	
		本年(H27)	平年	前年(H26)	平年差	前年差	平年比-2℃	平年並	平年比+2℃	平年差	2℃高いときとの平年差	平年	前年(H26)
岩手町	一方井		4/24	4/24			5/15	5/10	5/5	-2	-7	5/12	5/9
盛岡市	三ツ割		4/19	4/17			5/12	5/7	5/3	-2	-6	5/9	5/6
紫波町	長岡	4/10	4/18	4/16	-8	-6	5/10	5/5	5/2	-2	-5	5/7	5/4
花巻市	上根子	4/5	4/18	4/14	-13	-9	5/9	5/4	5/1	-3	-6	5/7	5/3
北上市	更木	4/5	4/17	4/14	-12	-9	5/6	5/2	4/29	-4	-7	5/6	5/3
奥州市	前沢区稲置	4/6	4/14	4/12	-8	-6	5/4	5/1	4/28	-2	-5	5/3	5/2
	江刺区伊手		4/20	4/19			5/11	5/6	5/3	-3	-6	5/9	5/7
一関市	花泉町金沢	4/5	4/16	4/14	-11	-9	5/7	5/3	4/30	-2	-5	5/5	5/3
	大東町大原	4/7	4/19	4/17	-12	-10	5/10	5/5	5/2	-3	-6	5/8	5/6
陸前高田市	米崎	4/4	4/14	4/14	-10	-10	5/6	5/2	4/28	-2	-6	5/4	5/3
宮古市	崎山	4/8	4/18	4/16	-10	-8	5/12	5/7	5/3	-1	-5	5/8	5/5
岩泉町	乙茂	4/11	4/20	4/17	-9	-6	5/11	5/6	5/2	-2	-6	5/8	5/5
二戸市	下山井		4/20	4/17			5/11	5/7	5/3	-4	-8	5/11	5/4
県平均(参考)		4/6	4/18	4/16	-10	-8	5/9	5/5	5/1	-2	-6	5/7	5/4

※ 開花予測は、4月13日以降の気温が2℃低い場合、平年並の場合、2℃高い場合でそれぞれ予測している

2 展葉期以降の低温に注意

県内各地の「ふじ」の生育ステージの凍霜害発生危険限界温度を示したのが表2です。凍霜害発生温度や被害の様相は品種や部位、生育ステージ、低温遭遇時間などによって異なりますが、一般に展葉期を過ぎて開花期に近づくほど、凍霜害の危険性が高くなります。また、今年は生育が平年よりかなり早まっており、最低気温が平年並になっただけで被害が発生する可能性もありますので、例年以上に気象情報に注意し、事前対策の徹底を図りましょう。

表2 りんごの生育ステージと安全限界温度について

生育ステージ	発芽期	展葉期	グリーンクラスター期	中心花蓄着色期	全花蓄着色期	開花直前始期	満開期
							
安全限界温度(°C)	-2.1			-2.0		-1.5	

※ 平成26年5月22日福島県農林水産部農業振興課資料を一部改変

※ 基準品種は「ふじ」

※ 安全限界温度は、上記の指標以下に1時間おかれた場合、わずかでも花芽が障害を受ける温度を示す

3 凍霜害対策

(1) 凍霜害の事前対策

平成27年4月1日付け農作物技術情報号外凍霜害対策（果樹・野菜）を参照ください。

(2) 被害発生後の対策：被害が発生した場合は次の対策を講じてください。

ア 被害状況の確認

凍霜害発生後、被害状況を把握するためにはナイフなどでつぼみや花を割り、内部の状況を肉眼で確認してください。確認する内容は、めしべから胚珠の色が健全か否かです。褐変している場合、結実は期待できません。

そして、以下の点を確認し、被害の少ない品種、少ない部位を確実に結実できるように結実対策を実施しましょう。

- ① 中心花と側花の被害程度（中心花及び側花は結実可能であるか）
- ② 樹上部と目通り高さの被害程度（樹上部の花は結実可能であるか）
- ③ 傾斜した園地では、園地下部と上部の被害程度
- ④ 品種毎の被害程度（被害の少ない品種は何か）

イ 人工授粉の徹底

被害を免れた花を確実に結実させるため、徹底して人工授粉を行います。

ウ 摘花・摘果

摘花作業は慎重に、摘果剤の散布も控え、荒摘果は正常なガク立ちと果実肥大を確認後、過剰な着果を除く程度に行います。